

# 求む



見えないも、聞こえないも、  
歳をとるも、すごい能力に、  
変えることができるんです。

え？いきなりなんだろう！と驚かせてしまったかもしれません。はじめまして、私たちは「ダイアログ・ジャパン・ソサエティ」と申します。ダイアログとは、対話のこと。お互いを認め、尊重する対話の力を活かした3つのソーシャルエンターテイメントを主催しています。1つ目は、20年にわたり開催をつづける「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」。真っ暗闇の中を訪れた参加者は、アテンドと呼ぶ視覚障害者に導かれ、見ること以外の感覚を使い、驚きに満ちた発見をする暗闇の中の対話です。2つ目は、「ダイアログ・イン・サイレンス」。音のない世界を聴覚障害者が導き、言葉の壁を超える体験をする静けさの中の対話です。3つ目は、「ダイアログ・ウィズ・タイム」。豊かに歳を重ねた70歳以上の高齢者が、未来を案内する生き方との対話です。私たちは信じています。現在、日本の約3人に1人<sup>\*1</sup>とされる障害者と高齢者は、決して弱者ではありません。むしろ、不便な生活の中で、人と関わり、人が本来持つ温かさを知っている。だからこそ、これからの日本に必要な流れをつくる優しい変革者なのではないかと。対話を通じて社会が変わるきっかけを生み出すために2020年、私たちは挑戦します。ダーク、サイレンス、タイムが揃うダイアログ・ミュージアム<sup>\*2</sup>「対話の森<sup>®</sup>」を、東京の浜松町にできる複合施設「ウォーターズ竹芝」にオープンします。さらに、アテンドを日本中に増やすために、「ダイアログ・アテンドスクール」の開講を決めました。2019年秋、まずは、ダイアログ・イン・ザ・ダークのコースから。見えない、聞こえない、歳をとる。もし、あなたが該当するなら、すでにアテンドとして活躍する講師とともに可能性を広げ、新しい時代のロールモデルをつくりませんか？あるいは、あなたの近くに心当たりのある人がいたらぜひ伝えてみてください。この新聞をもとに対話をしてもらえたら嬉しいです。

\*1: 2018年4月、厚生労働省発表。国民のおよそ7.4%が何らかの障害を有している。そのうちの65歳以下の障害者の方の割合は約3.6%。2017年9月、総務省発表。総人口に占める65歳以上の高齢者人口の割合は27.7%。合計31.3%より、全人口に占める約3人に1人と計算。\*2: 「ダイアログ・ミュージアム=MODI (Museum of Diversity and Inclusion)」の概念およびすべての関連商標は、Dialogue Social Enterprise GmbHの知的財産です。

2019年秋、「ダイアログ・アテンドスクール」ダークコース開講。

「ダイアログ・アテンドスクール」の申し込みは [ダイアログアテンドスクール](#)  お問合せは03-6231-1640 (月~金/10~18時 対応可能) [attend-school@dialogue-japan.org](mailto:attend-school@dialogue-japan.org)

2020年内、「ダイアログ・ミュージアム」オープン。

## 受講条件 いずれかに 該当する方

- 視覚障害者       聴覚障害者       70歳以上の高齢者

*Dialogue Japan Society*

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ



2019年夏、「ダイアログ・ウィズ・タイム」「ダイアログ・イン・サイレンス」を  
新宿ルミネ0にて開催いたします。特別協賛：清水建設株式会社 特別協力：東日本旅客鉄道株式会社

ダイアログの活動を支援くださる  
サポーターの皆さんを募集中です！

